



平成17年1月6日

各 位

福岡県北九州市小倉北区米町一丁目5番18号

第15エルザビル

株式会社ワールドインテック

代表取締役社長 伊井田 栄吉

(コード番号：2429)

問い合わせ先 取締役経営管理本部長 菅野利彦

電話 093-533-0540

平成16年12月期実績見込み及び平成17年12月期の業績予想について

平成16年12月期(平成16年1月1日～平成16年12月31日)の実績見込み及び平成17年12月期(平成17年1月1日～平成17年12月31日)における当社グループ及び当社の業績予想は、次のとおりであります。

【連結通期】

(単位:百万円・%)

項目	平成17年12月期 (予想)			平成16年12月期 (実績見込み)			平成15年12月期 (実績)	
	金額	構成比	前年比	金額	構成比	前年比	金額	構成比
売上高	22,000	100.0	113.0	19,463	100.0	126.0	15,445	100.0
経常利益	850	3.9	155.1	548	2.8	108.3	506	3.3
当期純利益	443	2.0	156.5	283	1.5	115.5	245	1.6
1株当たり当期純利益	24,755.52円			17,824.85円			151,139.26円	

【単体通期】

(単位:百万円・%)

項目	平成17年12月期 (予想)			平成16年12月期 (実績見込み)			平成15年12月期 (実績)	
	金額	構成比	前年比	金額	構成比	前年比	金額	構成比
売上高	20,900	100.0	116.8	17,900	100.0	142.5	12,557	100.0
経常利益	826	4.0	125.7	657	3.7	137.2	479	3.8
当期純利益	414	2.0	104.0	398	2.2	163.1	244	1.9
1株当たり当期純利益	23,165.80円			25,017.18円			150,360.66円	
1株当たり配当金	1,000円			1,000円			旧株：5,000円 新株：1,274円	
(1株当たり中間配当金)	(-)			(-)			(-)	

(注)1. 平成15年12月期および平成16年12月期(実績見込み)の1株当たり当期純利益は期中平均発行済株式数により算出し、平成17年12月期(予想)の数値については、公募予定株式数2,000株を含めた期末予定発行済株式総数17,895株(潜在株式は考慮しない)により算出しております。

2. 平成16年12月期(実績見込み)は監査法人トーマツの監査は受けておりません

3. 当社は、平成16年8月21日付で株式1株につき5株の分割を行っております。そこで、株式会社ジャスダック証券取引所の公開引受責任者宛通知「上場申請のための有価証券報告書」における1株当たり指標の遡及修正数値の取扱いについて(平成16年12月10日付JQ証(上審)16第3号)に基づき、当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の1株当たり指標の推移を参考までに掲げると以下のとおりとなります。

ご注意： この文書は記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」(並びに訂正事項分)をご覧ください。投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

【連結通期】

項目	決算期	平成 15 年 12 月期(実績)
1 株当たり当期純利益		30,227.85 円

【単体通期】

項目	決算期	平成 15 年 12 月期(実績)
1 株当たり当期純利益		30,072.13 円
1 株当たり配当金		旧株: 1,000 円 新株: 254.8 円

【平成 16 年 12 月期(実績見込み)の連結業績の主な変動要因】

当社事業は、主に中長期(3 ヶ月以上、6 ヶ月以上の請負契約)の請負契約を締結している為、売上高、売上原価率に連続性がある為に過年度の実績及び直近の状況を基に、新規販売見込み、市場環境の予測を加味することで最終的な売上高、利益を見込んでおります。

具体的には景気鈍化による経済成長率の低下、企業間の競争激化等、日本企業全体及び当社を取り巻く環境は厳しさをましてきており、各企業は、不採算部門の切り離し、付加価値を生まない部門の外注化、収益性の高い部門への資金、人材の集中等を行ってきております。この様なニーズに応えられる各種アウトソーシングサービスの需要が増々高まっている中で様々なアウトソーサーが起業、乱立し、価格を中心とした競争激化が進んでおります。その中で当社は「コスト削減」から「高付加価値の享受」までの顧客にとって選択肢の幅をもたせる 顧客ニーズによる短期～長期の期間対応の順応性設計、企画、研究開発にいたる高人材の供給可能といった「戦略的アウトソーシング」を中心に営業展開を進めてまいりました。

この結果、売上高は 19,463 百万円(前年同期比 26.0%増)、営業利益は 687 百万円(同 42.5%増)、経常利益 548 百万円(同 8.3%増)、当期純利益は 283 百万円(同 15.5%増)を予定しております。

ご注意： この文書は記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。
投資を行う際は、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」(並びに訂正事項分)をご覧ください。投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

【平成 17 年 12 月期業績予想の前提条件】

(連結)

(1) 全般的な見通し

ファクトリー事業は一層の「戦略的アウトソーシング」を進め、売上拡大、利益拡大を進めてまいります。

スポット事業は、不採算部門の切り捨てを行い、事業の効率化に努め売上規模の縮小はあるものの利益の改善を進めてまいります。

その他事業は、より高付加価値を求め更なる拡大への基盤作りを進めてまいります。

(2) 売上高

ファクトリー事業は「戦略的なアウトソーシング」により、各営業所の売上拡大により19,553百万円(前年同期比18.5%増)と見込んでおります。

スポット事業は、不採算部門切捨てによる事業縮小の実施の為、950百万円(同36.7%減)を見込んでおります。

その他事業は、安定度を増し、更に拡大を求めて1,496百万円(同0.1%増)を見込んでおります。

(3) 売上原価

スポット事業の業務縮小に伴う、原価率のアップを一部見込んだものの、その他の事業については、実績をベースに見込んでおります。

(4) 販売費及び一般管理費

スポット事業の事業縮小に伴い、人員削減を見込んでおります。その他の事業につきましては、実績をベースに見込んでおります。

その結果、売上高販管費率は 13.9%から 12.6%と 1.3%の改善を見込んでおります。

(単体)

連結数値の前提条件と同様であります。

以上

ご注意： この文書は記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。
投資を行う際は、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」(並びに訂正事項分)を
ご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いします。